	奇龍上人和讃 松濤基作曲 石田順子振付		
唱	え奉る呑龍上人	正座のまま静かに合掌	
Ĵ	和讃に	合掌のまま左足をくずして静かに立ち両手をおろす	
歌	手	足	
ŧ`	左手左斜め下のまま、右手左斜め下 より半円を描きながら右斜め下にす	右斜めに右足より右、左、右と進み4 歩目の左足を右足の後ろにトンとす	
<u> </u>	る る	S	
l			
の			
休く	右手右斜め下のまま左手右斜め下よ り半円を描きながら左斜め下にする	左斜めに左足より左、右、左と4歩目 の右足を左足の後ろにトンとする	
Ì	ラーコと語さながらながらながらいでする	の石足を圧足の後ろに「フこする	
12			
1			
休			
せい	両手胸につける	右足一歩前に出す	
う			
け			
L	両手前方斜め上に上げる	左足を右足につける	
I			
休			
け	左手軽くすくうようにして左斜め上に し、右手は伏せて右斜め下に下す	軽く膝を曲げつつ右足を一歩後ろに 引く	
I	OCH TISKE CHMANTICE		
う			
の			

歌	手	足
休	 右手軽くすくいながら右斜め上にす	<u>た</u> 軽く膝を曲げつつ左足を一歩後ろに
<u>こ</u>	る。左手伏せて左斜め下に下す	引き
う		
そ		
う		
休		
なは		
ど		
ん	両手胸前で合掌する	右足を引き左足につける
りゅう	軽く低頭	
I		
休		
み	右手掌上にして前方に上げ左手掌下 にして下に下げて行く。右手掌下にし	右足を一歩出し
[て下に下げ左手掌上にして前方上に 上げて行き、すぐ左手掌を下にして下	
だ	げ右手の上に重ねる。	左足を一歩出す
の		
休ほ	両手体前でくるりと回し掌を上にし両 手斜め上に広げて行く	左足に右足をつける
ん 		
が		
ん		
休		
いに	右手左胸におき	
ح	左手右胸に左手の上に重ねる	
め		

歌	手	足
て	軽く低頭	膝を軽く曲げる
I		
休		
しょ	右手右斜め上に上げる	右足一歩後ろに引く
う		
みょ		
う		
休ね	左手左斜め上に上げる	左足を右足につける
ん		
స్		
っ		
休		
ひと	正面斜め上で両手を合わせ合掌の 形とする	
す		
じ		
1	両手そのまま軽く低頭	
休		
٤	両手向かい合わせ右斜め下に	右足一歩後ろに引く
 き		
ひ	両手向かい合わせ左斜め下に	左足一歩後ろに引く
ろ		

歌	手	足
休め	右手やや右斜め前方に左手左脇に あてその周りを一回りする	右足より数歩で右まわりをする
ı		
た		
る		
休		
とう	両手前方斜め上に上げ頂く	右足一歩前に出す
ح		
さ		
ょ	合掌低頭	右足を後ろに引き、左足に右足をつける
休	六番に続くときは、両手腿の上に置く	
	1番で終わる場合は、両手合掌のまま正座をする。両手腿の上ハの字におき、改めて合掌、低頭をし退堂する	

に左足
に左足
かにー

歌	手	足
休		
と も	両手斜め右下に下す	左足を一歩後ろに引く
بخ		
ŧ		
1=	両手右斜め下より左斜め上に上げ円 を描いて左斜め下に下す	右足を一歩後ろに引く
I		
I		
休		
世	右手右斜め上に上げる	右足を一歩前に出す
<i>b</i>		
じゅ		
休 ね	左手、右横、右斜め上を通り左斜め 上に上げる	左足を右足につける
<i>b</i>		
ぶ		
2		
休い		
いちぎょ	斜め前方で両手を合わせる	
う	±= 41.2==	
1	軽く低頭	
-		
休		

	_	
歌	手	足
は	体はやや右斜めを向き右手肩の高さ にし、左手顔の横で肘を曲げ、掌を後	右足を一歩前に出す
	ろに向けて立てる	
げ		
み		
休は	体はやや左斜めを向き左手肩の高さにし、右手顔の横で肘を曲げ、掌を後	左足を一歩前に出す
げ	ろに向けて立てる	
み		
て		
休		
なを	右手を左横に持っていき、両手体前 を通り、右手右斜め上で掌を外にす	左足を一歩後ろへ引く
な	る。左手右胸前で指先を立てる(顔は手を追う)	
世		
IJ	両手右斜め上より体前を通り左斜め 上に持っていき左手掌を外に向け右	右足を左足につける
I	手左胸の前で指先を立てる(顔は手を追う)	
I	で <i>追り</i> /	
休		
な	両手を顔の前に持って行き(掌内側) そのまま下に下し両手両横を通り頭	右足より一周り
むむ	上で円を描く(掌外側)	
あ		
み		
休だ	両手体前で下しながら	
ぶ		
つ	合掌にする	

歌	手	足
休		
あみ		左、右と足を引きながら
だ		
ぶ		正座とする
っ	両手両横を通り斜め前方に捧げる	正座のまま
1		
-		
休		

正座のまま両手腿の上にハの字に置き、改めて合掌低頭し退堂する